

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 3 回

設置年月日	警報・注意報名等	備考
6.8.8(木) ～8.15(木)	南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)	24時間2人体制で 防災センターに待機
6.8.29(木) ～8.30(金)	大雨(土砂災害)警報 大雨注意報(浸水)、洪水注意報、雷注意報、 波浪注意報	台風第10号 避難所31箇所開設 49世帯55人
6.8.31(土) ～9.1(日)	洪水・大雨(土砂災害)警報 大雨注意報(浸水)、洪水注意報、雷注意報、 強風注意報、波浪注意報	

2 被災地への職員派遣

被災地自治体を支援するため、総務省の調整のもと、石川県輪島市の対口支援団体として三重県が決定されたことや災害協定等に基づき、石川県輪島市等の被災自治体に職員を派遣し、災害支援を行った。

(1) 令和6年能登半島地震(令和6年1月1日発生)

・活動内容、派遣期間、派遣職員及び人数

活動内容	派遣先	期 間	職 種
災害対策本部の運営 (3人)	輪島市	6.5.3(金)～5.12(日)(10日間) 6.5.27(月)～6.1(土)(7日間)	事務職員
避難所運営(4人)	輪島市	6.4.3(水)～4.9(火)(7日間) 6.5.9(木)～5.15(水)(7日間)	事務職員
被害認定(8人)	輪島市	6.4.15(月)～4.21(日)(7日間) 6.4.23(火)～4.29(月)(7日間) 6.5.1(水)～5.7(火)(7日間) 6.5.5(日)～5.11(土)(7日間) 6.5.13(月)～5.19(日)(7日間) 6.5.21(火)～5.27(月)(7日間) 6.5.25(土)～6.1(土)(7日間)	事務職員 建築技術 職員
災害復旧工事にかかる 災害調査、災害査定及び 工事発注業務(1人)	鳳珠郡 穴水町	6.3.30(土)～10.1(火)(6ヶ月間)	土木技術 職員

下水道災害復旧工事の設計、施工監理業務（１人）	氷見市	6.3.30（土）～10. 1（火）（６ヶ月間）	土木技術職員
-------------------------	-----	--------------------------	--------

令和６年４月１日以降に派遣した職員 延べ17人

（２）令和６年奥能登豪雨（令和６年９月21日～23日発生）

・活動内容、派遣期間、派遣職員及び人数

活動内容	派遣先	期 間	職 種
災害対策本部の運営（１人）	輪島市	6. 9.26（木）～10. 5（土）（10日間）	事務職員
被害認定（４人）	輪島市	6.10.22（火）～10.30（水）（９日間） 6.11.11（月）～11.19（火）（９日間）	事務職員
給水活動（２人）	輪島市	6.10.25（金）～11. 1（金）（８日間）	技能労務職員

３ 災害対策本部の体制強化

（１）ＢＣＭ（伊勢市業務継続マネジメント）定例会の開催

各部、各チームが主体性を持ってＢＣＭに取り組むためにＢＣＭ定例会を開催し、課題に対する対策の進捗状況について報告等を行った。また、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に対しての対応について共有し、視察研修の実施及び災害ケースマネジメントの実施体制に関する事前準備の進捗状況の報告を行った。

ア 第14回ＢＣＭ定例会

- ・実施年月日 令和６年８月16日（金）
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏（三重大学）
- ・議 事 第13回ＢＣＭ定例会時の指示事項に対する進捗状況
重要６要素の進捗状況と課題
令和６年度ＢＣＰ改善計画の中間点検結果

イ 第15回ＢＣＭ定例会

- ・実施年月日 令和７年３月27日（木）
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏（三重大学）
- ・議 事 第14回ＢＣＭ定例会時の指示事項に対する進捗状況
令和６年度ＢＣＰ改善計画の最終点検
被災地視察の報告

（２）居住地区別参集体制訓練の実施

勤務時間外の地震発生を想定し、居住地に応じた場所に参集し、参集場所において災害対応の初動手順を確認する訓練を実施した。

- ・実施年月日及び場所 令和6年11月8日(金) 御園総合支所
- ・参加数 30人
- ・訓練内容 勤務時間外に地震が発生したことを想定し、職員の居住地に応じて参集し建物の安全確認、ライフラインの点検、通信機器の確認、津波避難に係る情報発信、被害情報の収集・集約など、初動体制の訓練を実施した。

(3) 図上訓練の実施

職員の災害対策本部運営体制の習熟度を上げるため、災害対策本部となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を次のとおり実施した。

- ・実施年月日 令和6年10月28日(月)
- ・実施場所 伊勢市防災センター
- ・参加者 市職員 120人
関係機関 65人(見学者18人含む)
- ・講評者 川口 淳 氏(三重大学)
- ・内 容 重要度が高い業務を実施するために必要な情報及び推測・推計方法の検討と検証、令和6年能登半島地震初動期の課題に対する対応策の検討を目的として、大規模地震の発生の3日後からを想定し実施した。

4 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

(1) 自主防災組織結成数 136隊(令和7年3月31日現在)

(2) 訓練助成金 88件 2,640,000円

(3) 防災補助金 111件 19,968,000円

ア 自治会 35件 3,653,000円

イ 自主防災組織 76件 16,315,000円

5 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会及び小中学校や高校、企業等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練指導を実施した。

ア 実施回数 143回

イ 参加人数 7,678人

ウ 実施内容

- ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
- ・児童、生徒、従業員等への防災教育
- ・災害時の避難行動訓練指導

(2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見え

る関係を作り、地域課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングや地域防災マップの作成に対し支援を行った。

ア 説明会 令和6年6月9日(日)御園公民館

イ 説明会参加自治会 19自治会

(藤里町自治会、藤里団地自治会、中島町内会、旭町自治会、清井町自治会、新高第4自治会、西本町自治区、中小俣自治区、中村町自治会、下野町自治区、竹ヶ鼻町自治会、上條区自治会、小林区、柏団地自治会、柏町会、浦口自治連合会、明野第一第二自治区、宮川町町内会、倭町自治会)

ウ 作成実績 13自治会

(藤里町自治会、藤里団地自治会、中島町内会、西本町自治区、竹ヶ鼻町自治会、柏団地自治会、柏町会、浦口自治連合会、明野第一第二自治区、宮川町町内会、倭町自治会、中長屋自治会、下長屋自治会)

(3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な地震では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生している。特に高齢者、障がい者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

ア 実施件数 24件

イ 申込期間 令和6年8月1日(木)～令和7年1月31日(金)

(4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、伊勢市防災大学の講義を研修会とし、津地方気象台職員が講師を務めた「台風・大雨に備える」の講義に参加した。

ア 実施年月日 令和6年8月25日(日)

イ 研修内容 講義内容 「台風・大雨に備える」
講師 津地方気象台職員

ウ 参加者 33人

(5) 伊勢市防災コーディネーター事業

市民の防災活動の普及・防災意識の高揚を図るため、防災士資格を持つ市民の中から登録の意思のある方を「伊勢市防災コーディネーター」に認定し、地域の防災啓発活動や市が実施する防災事業のサポートを行っている。

・登録人数 44人(令和7年3月31日現在)

(6) 親子防災イベントの実施

小学校の夏休みを利用し、小学4年生から6年生の児童及びその保護者を対象に防災センターにおいて災害に対する備えについて学び、防災に対する意識の向上を行った。

ア 実施年月日 令和6年8月18日(日)

イ 参加者 55人(小学生30人、保護者25人)

ウ 協力者 11人(宇治山田商業高校生徒3人、防災コーディネーター8人)

エ 研修内容 避難所テント、段ボールベッド設営、アルファ化米調理及び試食、クロスロードゲーム、応急手当体験、担架搬送、夜間避難訓練など

6 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした伊勢市防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害対策本部として運用しており、防災の拠点として施設の管理、運営を行った。

(1) 管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。(12月28日から翌年1月4日までは休館)

(2) 利用状況

(単位：人)

年度	体験 学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的 ホール	小計	イベント	合計
H28	8,055	3,226	214	236	4,023	15,754	2,300	18,054
H29	6,444	4,796	261	605	3,673	15,779	1,550	17,329
H30	6,187	4,238	240	597	4,825	16,087	1,700	17,787
R元	6,526	4,023	314	313	5,235	16,411	1,550	17,961
R2	2,586	1,859	173	191	3,070	7,879	0	7,879
R3	3,388	2,751	451	219	4,007	10,816	0	10,816
R4	4,271	2,961	415	315	5,343	13,305	0	13,305
R5	5,297	3,043	377	276	5,661	14,654	1,700	16,354
R6	5,111	5,022	361	378	4,314	15,186	1,700	16,886

(3) 実施イベント

ア 消防・防災フェスタ

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を伊勢市防災センターで開催し、防災意識の普及、啓発を図った。

・開催日 令和6年5月26日(日)

・来場者数 900人

・イベント内容 防災ワークショップ(がれきころがし、防災リュック)、はしご車搭乗体験、放水体験、防火服着装体験、煙避難体験、初期消火体験、防災シアター、ちびっこレスキュー体験など

イ 救急と災害を考える集い

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を開催した。

・開催日 令和6年9月8日(日)

・来場者数 800人

・イベント内容 応急手当体験、煙避難体験、初期消火体験、アマチュア無線展示、災害時におけるお薬手帳の有効性、血圧測定・健康相談、手洗いチェック

ー、モバイルファーマシー（災害対策医療薬品供給車両）展示、はしご車体験搭乗、地震体験車、防災物品展示など

（４）伊勢市防災大学

防災について、総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校し、53人の方が受講した。

回	日 時	内 容	講 師
第1回	6. 7.28（日）	・開校式 ・防災講演	三重大学 教授 川口 淳 氏
第2回	6. 8.25（日）	・防災講演 「台風・大雨に備える」	津地方気象台職員
第3回	6.10.27（日）	・防災演習 「クロスロードゲーム」	伊勢市防災コーディネーター
第4回	6.11.24（日）	・視察見学 「人と防災未来センター」	人と防災未来センター 語り部
第5回	7. 1.19（日）	・防災講演 「災害派遣活動の体験談」	陸上自衛隊三重地方協力本部 自衛隊三重地方協力本部長 1等陸佐 水野 克輝 氏
第6回	7. 2.16（日）	・防災講演 「避難スイッチ」	香川大学 准教授 竹之内 健介 氏
第7回	7. 3. 9（日）	・学んだこと発表会 ・修了式	

7 災害対応デジタル推進事業

（１）避難所Wi-Fi整備事業

大規模災害発生時の避難所（避難生活施設）での避難生活において、避難者がスマートフォンなどの情報端末で情報が入手できるよう小中学校の屋内運動場にネットワーク機器の設置などWi-Fi環境の整備を実施した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊勢市地内	伊勢市立小中学校ネットワーク改修業務委託	小中学校屋内運動場 4か所	円 3,897,300	6.10.28	7. 3.21

（注）教育メディア課施行

イ 購入関係

小学校屋内運動場（避難所）用ネットワーク機器購入経費 2,165,680 円

8 災害協定の締結

民間事業所等と災害時の応援協定を次のとおり締結した。

締 結 先	締結 年月日	協定の名称
全国漏水調査協会	6. 4. 26	災害時の漏水調査技術員の派遣に関する協定
株式会社 海栄館	6. 7. 4	災害時におけるヘリポートの利用に関する協定書
伊勢市私立保育連盟 伊勢私立幼稚園・認定こども園協会	6. 8. 21	伊勢市の教育・保育施設における災害時相互支援に関する協定書
株式会社 Z T V	6.10.21	防災行政無線等の再送信に関する防災協定書
三重県農業共済組合	6.12. 2	災害時の協力に関する協定
株式会社 ジーアイビー (株式会社ビーエスエル)	6.12. 4	災害時等における資機材の提供に関する協定
有限会社二軒茶屋餅角谷本店	7. 2. 28	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定書

(注) 令和6年度末 協定締結数 156件

9 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸を募集し、水質検査完了後に登録を実施した。登録後の災害用井戸は、ホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

(1) 登録件数(令和6年度末) 271件(前年度比 1件減)

(2) 募集期間 令和6年6月1日(土)~令和6年11月30日(土)

10 備蓄物資関係

(1) 備蓄物資の整備

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食糧等を購入し、物資及び資機材の整備を行った。

ア 公的備蓄の数量

No	品目	備蓄目標(注)		令和6年度 購入数		令和6年度末 備蓄数量	
1	クラッカー	77,128	食	15,750	食	75,160	食
2	おかゆ	15,696	食	2,400	食	12,800	食
3	ようかん			1,600	食		
4	粉ミルク	2,710	食	2,800	食	2,800	食
5	液体ミルク	-	本	720	本	720	本
6	使い捨て哺乳瓶	2,710	本	780	本	4,920	本
7	アルミシート	65,883	枚	6,000	枚	67,100	枚
8	毛布	13,519	枚	-	枚	15,516	枚

9	乳児・小児用おむつ	23,800	枚	5,236	枚	43,952	枚
10	大人用おむつ	7,536	枚	1,564	枚	18,854	枚
11	生理用品	25,215	枚	2,580	枚	67,940	枚
12	携帯トイレ	612,190	回分	40,000	回分	505,000	回分
13	トイレトーパー	26,844	巻	2,688	巻	32,290	巻
14	飲料水（500ml）	298,208	本	24,000	本	228,922	本

（注）備蓄目標の数量は、伊勢市備蓄計画（令和5年3月更新）の避難者用と帰宅困難者用の合算
イ 避難生活施設運営資機材

No	品目	備蓄目標（注）		令和6年度 購入数		令和6年度末 備蓄数量	
1	発電機 （カセットガス式）	144	台	-	台	155	台
2	コードリール	192	台	14	台	161	台
3	投光器 （バルーンタイプ）	48	基	-	基	53	基
4	投光器	192	基	30	基	102	基
5	投光器用スタンド	192	基	30	基	102	基
6	LED ランタン	480	個	-	個	348	個
7	室内用テント	96	基	4	基	96	基
8	養生テープ	240	巻	-	巻	240	巻
9	ビニール袋	48,000	枚	-	枚	20,100	枚
10	カセットコンロ	96	個	-	個	96	個
11	カセットボンベ	9,216	本	2,160	本	11,262	本
12	やかん	96	個	-	個	98	個
13	電気ポット	48	個	2	個	48	個
14	ブルーシート	2,400	枚	-	枚	3,300	枚
15	給水用タンク	48	基	10	基	20	基
16	折畳み式リヤカー	48	個	-	個	44	個
17	本部への報告様式	48	組	-	組	48	組
18	救急箱	48	個	17	個	30	個
19	筆記用具	48	組	-	組	48	組
20	情報伝達キット	48	個	-	個	48	個
21	ラジオ	96	台	-	台	165	台
22	避難生活施設 表示看板	48	基	-	基	48	基

（注）備蓄目標の数量は、伊勢市備蓄計画（令和5年3月更新）の避難生活施設48施設の合算

11 防災施設整備関係

(1) 津波避難施設維持管理関係

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
磯町地内	御園中学校避難階段塗装改修工事	塗装改修一式	円 3,179,000	6. 7. 8	6. 8.21
東豊浜町地内ほか	東豊浜町津波避難施設ほか照明灯修繕工事	照明灯修繕一式	2,105,400	7. 2. 4	7. 3.24
計	2 件	-	5,284,400	-	-

【50万円以下の工事】

・避難所看板移設工事ほか 4 件：913,000円

12 備蓄倉庫等整備事業

(1) 宇治防災倉庫（仮称）の整備

観光客の帰宅困難者対策として、宇治防災倉庫（仮称）の整備を進めた。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金 額	着 手	完 了
宇治浦田 1 丁 目 地 内	宇治防災倉庫（仮称） 新築工事設計業務委託	設計業務一式	円 3,339,600	6.10. 1	7. 2.28
宇治浦田 1 丁 目 地 内	宇治防災倉庫（仮称） 新築に伴う地質調査 業務委託	地質調査業務一式	4,149,200	6.10.15	7. 1.20
計	2 件	-	7,488,800	-	-

イ 手数料関係

建築確認申請手数料 1 件：36,000円

○ 危機管理関係

1 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

弾道ミサイルが発射された際の避難行動についての理解促進を図るため、国（内閣官房、消防庁） 三重県及び伊勢市と共同で避難行動訓練を実施した。

(1) 日時 令和 6 年 11 月 18 日（月）

(2) 場所 イオン伊勢店

(3) 参加者 イオン伊勢店周辺の地域住民

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会

年々増加する特殊詐欺事案や不審者からの声かけ事案を未然に防止するため、自治会、老人会、幼稚園、保育園等へ出向し講習会を開催した。

開催回数：58回 受講者数：2,122人(内訳：大人932人、幼児1,190人(保護者含む。))

- 内 容 ・防犯DVDや特殊詐欺事案の寸劇による啓発(振り込め詐欺など)を行った。
- ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について講話を行った。
- ・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について講話を行った。
- ・子供連れ去り事案防止教育の「いかのおすし」を題材とした紙芝居ビデオ及び「五つの約束」について園児に対し分かりやすい講話を行った。

(2) 防犯パトロール

児童・生徒の下校中に発生している不審者の声かけ事案等について、被害防止を図るため、社会教育課と連携し、青色回転装備車で防犯パトロールを実施した。

実施回数：129回(危機管理課：88回、社会教育課：41回)

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発を実施した。

配信回数：18回

(4) 防犯情報の提供及び対応

警察等からの不審者情報や特殊詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

2 伊勢市自主防犯団体連絡会

自主防犯団体相互の連携と資質の向上に積極的に取り組み、伊勢市内の防犯パトロール活動の活性化と市民の防犯意識の高揚を図った。

(1) 防犯啓発活動

ア 大型店舗での防犯啓発

伊勢市自主防犯団体連絡会、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会と合同で、市内のスーパーマーケット前で、街頭犯罪や振り込め詐欺などの被害防止の啓発活動を実施した。

実施回数：21回

イ 伊勢まつりでの防犯啓発

伊勢市自主防犯団体連絡会、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会と合同で、伊勢ま

つりパレードに参加し、街頭犯罪や振り込め詐欺などの被害防止の啓発活動を実施した。

実施日：令和6年10月13日（日）

ウ 観光客への防犯啓発

観光客の犯罪被害防止のため、観光案内所などに車上ねらい、置き引きなどの防犯チラシを設置した。

また、令和6年11月7日（木）おはらい町通りにて、伊勢市自主防犯団体連絡会の会員で、観光客へ盗難防止などの防犯チラシ及び啓発物品を配布し、啓発活動を実施した。

3 防犯灯補助金

夜間に路上で発生する犯罪防止のため、防犯灯を設置する自治会へ「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯維持管理経費助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付し、地域の防犯環境を支援した。

（１）防犯灯に係る補助金及び助成金交付

- ・ 防犯灯新設 48灯
- ・ 防犯灯修繕 169件
- ・ 防犯灯電気代 13,774灯

4 防犯カメラ設置推進事業

安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯カメラを設置する自治会へ「伊勢市防犯カメラ設置補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯カメラ維持管理経費助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付し、地域の防犯環境を支援した。

（１）防犯カメラに係る補助金交付

- ・ 防犯カメラ新設 33台 （R2～R5：188台）合計 221台
- ・ 防犯カメラ修繕 3件
- ・ 防犯カメラ保守点検 96台
- ・ 防犯カメラ共架料 49台
- ・ 防犯カメラ電気代 173台

5 特殊詐欺等被害防止機器設置の推進

近年増加している特殊詐欺被害防止のため、防犯機能付き固定電話機及び固定電話機に取り付ける防犯機能機器の購入者に「伊勢市特殊詐欺等被害防止機器購入補助金交付要綱」に基づき補助金を交付し、被害防止に努めた。

（１）特殊詐欺被害防止機器 121件

6 犯罪被害者等支援事業

犯罪行為に遭った被害者等の精神的負担の軽減を行うために、総合窓口として相談に応じ、各関係機関等の適切なサービスを提供した。また、給付条件に該当する場合は、犯罪被害者等の経済的負担の軽減等を目的として、支援金の支給と日常生活の支援を行う。

(1) 実績

ア 対応実績

・相談件数： 1 件

イ 給付実績

・支援金： 0 円

・助成金： 0 円

(2) 支援金制度

犯罪被害者及びその家族(遺族)が事件直後に必要となる経済的負担の軽減を図るため、支援金を給付する。

・遺族支援金	犯罪被害者の第一順位の遺族	300,000円
・重傷病支援金	犯罪被害者本人	100,000円
・精神療養支援金	犯罪被害者本人	25,000円

(3) 助成金制度

犯罪被害により、日常生活及び住居安定に支障がある犯罪被害者及びその遺族に対して、助成金を給付する。

・家事援助助成金	上限額：3,000円/時間×30時間
・一時保育助成金	上限額：3,000円/日×5日
・転居助成金	上限額：200,000円×1回
・家賃助成金	家賃月額×1/2×上限額：30,000円/月×6カ月